

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年6月19日 No.26

生活科おもちゃづくり

2年生が生活科でおもちゃをつくり、実際に遊んでみながら改良したり、遊び方の工夫をし、学習の最後に1年生を招待して遊ばせてあげるとい学習に取り組んでいます。この日は、一人一人がつくったおもちゃを、まずは2年生同士で遊び合ってみるという取組が行われていました。



◇魚釣りをしました。釣り竿の先に磁石をつけて、魚の口やしっぽにピンをつけました。いっぱい人が来てくれて楽しかったです。
神谷陽梨さん

◇ヨーヨーと鉄棒ねこをつくりました。鉄棒ねこは、ストローを回すとねこが回ります。いろいろなおもちゃがあって楽しかったです。
佐藤 楓さん

◇ロケットジャンプをつくりました。紙コップに小さい三角の切り込みを入れて、そこに輪ゴムをかけます。そして、もう一つの紙コップをはめて、離すと飛びます。みんなのおもちゃで遊ぶのも、自分のおもちゃで遊んでもらうのもどちらも楽しかったです。
都築桜叶さん

おもちゃで遊ぶ子、遊ばせてあげる子、どちらも楽しそうでした。特に、遊ばせてあげる子は得意気に遊び方やルールの説明をしていました。きっと、一生懸命つくったおもちゃだからこそ、一生懸命考えた遊び方やルールだからこそなのでしょうね。今後の学習が楽しみです。

夏至～今年の夏至は6月21日～

夏至。暦の上では今日から夏という日です。この日は日の出から日の入りまでの時間が1年間で最も長い日で、今年の夏至は6月21日です。夏至を境に日照時間がだんだん短くなっていきます。ちなみに名古屋の夏至の頃の日照時間は14時間30分くらいで、反対に日照時間が一番短い冬至（今年は12月22日）の日の日照時間が9時間45分くらいです。その差はなんと4時間45分ほどとなります。感覚的に夏は日が長く、冬は日が短いというのがありますが、数字に表してみると、こんなに違うのかと驚かされます。21日はご家族で夏至について話題にしてみるのもいいですね。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年6月21日 No.27

鬼あかり制作



今年度は10月19日（土）に、「シン・鬼みちまつり」が計画されています。このまつりを盛り上げる「鬼あかり（ランプシェード）」、今年度も6年生が三州瓦鬼師応援隊のみなさんに教えていただきながら制作しました。この地方に伝わる鬼瓦について学ぶよい機会にもなり、楽しそうに制作を進めていました。できあがった鬼あかりは2日間、学校で乾燥させ、その後、鬼師さんの工場へ運ばれていきました。「シン・鬼みちまつり」当日は鬼面に空けられた穴から漏れ出るあかりが幻想的な雰囲気を創りだしてくれることでしょう。当日を楽しみにしててください。



制作後、学年の先生の指示によりビニールシートや使った道具などを協力して片付けていましたが、その作業が早く済んだ子どもたちがモップがけをしていました。言われたこと以外にもまだできることはないか、やったほうがよいことはないか、そんな目で見えて実行する、すてきな姿が見られました。さすが最高学年です。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年6月25日 No.28

菊の定植

昭和47年に発行された「吉浜の歩み」に、第23代校長 岩瀬繁弥先生の右のような文章を見つけました。今から50年以上前から吉浜小学校で菊の栽培が始まっており、昭和46年にやっと花をつけたことが分かります。現在は、工事の関係で一人一鉢が中断しておりますが、この時の愛好家の方々に変わって、現在は、「吉浜まちづくり協議会」のみなさんに協力をいただきながら、菊の栽培が続いています。そして、今年度も緑化委員会、4年生の子どもたちが菊を育てていく予定です。この日は緑化委員会の子どもたちが苗の定植を行いました。



学校環境の美化。いのちあるものを育て世話をするこ
命の尊さを体験させる。毎日毎日、長い期間、生き物を育てることによ
よって愛情と根気を養う。こんなことをねらった菊の一人一鉢運動が
46年の10月になって立派に花開いた。係の先生のご努力、菊愛好家の
方々のお指導とお世話、菊の成長につれてだんだんと強まってきた。
子どもたちの菊に対する関心と愛情、これらがみわたったのである。学
区内外の愛好家の方々のすばらしい協賛出品もあって立派な鑑菊会を
開くことができた。

(「吉浜小学校の歩み」より)

明日からはさっそく水やりが始まります。今年はどんな花をつけてくれるのか楽しみです。

なお、緑化委員会の子どもたちが育てていくこの大菊は11月に予定されている「人形小路菊まつり」で展示されることになっています。まつりを盛り立ててくれることでしょ

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年6月28日 No.30

しゃぼん玉



1年生が生活科の学習でしゃぼん玉を飛ばしました。しゃぼん玉はしゃぼん玉でもただのしゃぼん玉ではなく、自分の飛ばしたいしゃぼん玉を考え、そのしゃぼん玉を飛ばすためにはどんな道具を使うのかを考えました。一度にたくさんのしゃぼん玉を飛ばすためにうちわを骨組みを活用したり、さらにその骨組みに小さく切ったストローをたくさんひっつけている子もいました。大きなしゃぼん玉を作るために、モールや紐などで持ち手のある大きな輪を作ってきた子もいました。ハートの形のしゃぼん玉を作ろうと、ハート型の輪を作った子もいました。いろいろなアイデアがあって感心しました。

イメージどおりのしゃぼん玉がなかなかできないと話していた子もいましたが、うまくいった、いかなかったに関わらず、「…したいのでわたしは～します」という考え方、そして、それに基づいて実行することはやっぱり大事ですね。将来、自律した人間として生きていく力につながると思っています。